

## 盛岡地区安全伐倒競技・交流会の開催について

### 1 はじめに

盛岡広域振興局林務部では、若手林業従事者の作業技術の向上、安全作業に対する意識醸成を図るとともに、参加者同士の交流を促進することを目的に、昨年度に引き続き、安全伐倒競技会及び交流会を開催したので、その取組を紹介します。

### 2 競技レベルの技術を学ぶ

本競技会は12月6日に開催し、日本伐木チャンピオンシップ出場経験者である岩手県伐木技術指導員の小原孝氏(花巻市森林組合)と武田一吉氏(合同会社樵)を講師に招き、「高得点=安全な伐倒作業」となるよう配点された、簡易(模擬)伐倒の精度(100点満点)と危険行動による減点の合計値で、順位を競いました。



### 3 とにかく安全第一

競技会の開催にあたり、10月6日、12月5日の両日、ルールの説明会、2名の講師による、安全講習、実技指導が行われ、安全講習では、チェーンソーの目立てと自己メンテナンス、ガンマークの正しい使用方法と安全な伐倒作業について、講義いただき、実技練習

の際はチェーンソーや安全保護具のチェックが行われるなど、昨年度までの死亡林業労働災害の多発を防止するため、安全作業を強く意識した内容となりました。

### 4 交流会

交流会は昨年度のアンケートや参加者が若手従事者であることを考慮し、気軽に長すぎない昼食交流会としました。和気藹々とした雰囲気の中、参加者の交流が図られ、今後の事業体を超えた横の連携が期待されます。

### 5 おわりに

10月に開催した実技練習時と比較し、競技会本番では、明らかな技術の向上が確認され、100点満点2名、ノーペナルティ8名と、安全に対する意識の向上も見て取ることが出来ました。見学に来ていた、盛岡農業高校の生徒からは、「競技を見てかっこよかった。」「競技に参加してみたい。」などの声がありました。新規就労者の確保が期待できるため、今後も競技内容の見直しや、高校生の参加枠を設けるなど、林業従事者の育成と、新規就労者対策に取り組んで参ります。

